

研修医募集

東京都立神経病院

脳神経内科

Tokyo Metropolitan Neurological Hospital
Neurology Training Program



2つのコースを設置

初期研修後の方は
内科シニアレジデント

内科履修後の方は
脳神経内科
サブスペシャリティ
レジデント

2024年度
東京医師アカデミー

東京都立神経病院 運営理念

あらゆる神経・筋疾患、特に神経・筋難病に対し
1. 高度、専門、総合医療を広く都民に提供することを目的とする
2. 本質的には研究・教育病院としての性格を持つ
3. 医療のみならず予防から福祉に至る過程の重要な中核病院として
社会福祉政策面においても貢献すべき使命をもつ
ことを理念とする。



2029年の新病院に向けた新たな船出が君を待っている

神経病院は2022年
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立神経病院へと進化。
2029年の難病医療センター(仮称)開設に向けて
新病院の建設がスタートしています。

難病患者さんの請願により設立された神経病院

東京都は、神経難病の患者会からの要望を受け、1980(昭和55)年、“スモン”と“水俣病”の臨床的病態の解明に大きな貢献をした樫忠雄新潟大学脳研究所神経内科教授を初代院長に迎えて、脳神経系の専門病院として都立神経病院を開設しました。

開設以来、当院はあらゆる脳神経系疾患、特に神経・筋難病に対する高度専門医療を都民に提供することを目的に歩んでまいりました。

当院では、将来の神経難病診療を担う研修医を広く募集しています。全国最大規模の神経専門病院での研修を基に、神経難病の診療、研究・教育、社会福祉政策面で大きく貢献してくださることを期待しています。



沿革

昭和45年	神経総合センター(仮称)設立促進大会(スモンの会、東京進行性筋萎縮症協会主催)で神経専門病院の建設を東京都に要望。神経病院設立準備委員会を設置
昭和55年	都立神経病院開院
平成10年	日本医療機能評価機構による認定 (財)日本医療機能評価機構 病院機能評価(一般病院種別B)の認定を受ける
平成14年	東京都神経難病医療ネットワーク 東京都神経難病医療拠点病院の指定を受ける。東京神経難病医療ネットワーク事業に参加する
平成17年	神経内科専門臨床研修医(シニアレジデント)の研修を開始
平成21年	電子カルテシステムを導入
平成29年	東京都多摩難病相談・支援室開設(東京都福祉保健局からの受託事業)
平成30年	ロボットスーツHAL®(医療用下肢タイプ)を使用したリハビリの開始
平成31年	科学研究費補助金取扱規定大2条第1講第4号に規定する研究機関に指定(臨床研究室)
令和2年	外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)認証取得
令和3年	ALS/MNDセンター開設、神経病院1階に「専門外来」開設 包括的てんかん専門医療施設認定取得
令和4年	地方独立行政法人化

東京都立神経病院の研修

01 全国最大規模 高度で幅広い専門性

脳神経内科は7病棟(計216床)、神経内科専門医は26名と、きわめて多く、十分な指導体制にある。7つの病棟はそれぞれ専門性を持った医長が管理・運営している。レジデントは豊富な症例を経験しながら、各分野の最新の知識と技術を身につけることができる。全国有数のERを持つ多摩総合医療センターと連携した神経救急医療も充実している。

02 地域連携・多職種連携による 切れ目のない神経難病診療

診断や初期治療から在宅診療、終末期緩和ケア、病理解剖まで、神経難病のすべてを自分の目で確かめ、疾患と患者の全容を把握できる。認定難病看護師や特定認定看護師、リハビリテーションの療法士などが院内の多職種チームで活動し、摂食嚥下や呼吸器装着をサポートしている。

01 02



4つの 特徴

03 神経領域の8つの サブスペシャリティを研修

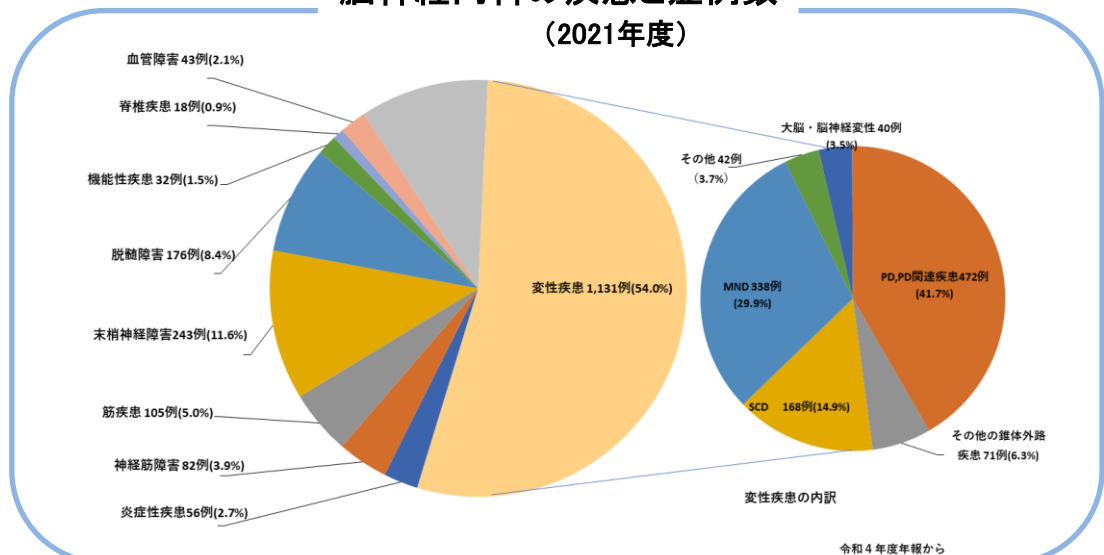
7つの病棟での研修と並行して、神経に関する各診療科(神経生理・神経放射線・神経病理・高次脳機能・リハビリテーション・精神・神経耳科・神経眼科の8部門)でのサブスペシャリティ研修も行う。

04 学会発表・論文執筆から 博士研究へ

当院の使命として、神経難病の病態解明と治療のための研究を運営理念にも掲げており、レジデントも積極的に研究活動に参加している。コース修了後は大学院進学その他、当院で働きながら東京都医学総合研究所で研究し、医学博士を目指す進路もご紹介している。

03 04

脳神経内科の疾患と症例数 (2021年度)



2つの研修プログラム

A 内科シニアレジデント

特長: 内科専門医と神経内科専門医の2つの資格を最短で取得できるコースです。

条件: ☆多摩総合医療センター、
☆多摩南部地域病院、
☆荏原病院 のいずれかの内科専攻医に
神経病院が推薦して採用された方 3名程度

研修期間: 基幹施設と合計して4年間

注意点: 当院での研修は、基幹施設のプログラムにおける連携研修の一部として行われます。
そのため、下図のコースは一例であり、多様性があることをご理解ください。

4年間の内、神経病院勤務は1年半～2年9か月程度と幅があります。

基幹施設が多摩総合医療センターの方は、都外連携研修があります。

神経内科専門医受験には日本神経学会「教育施設」で2～3年間履修が必要です。

神経病院以外の連携施設へ出向する際、当院から「教育施設」をご提案します。

* 専門医取得のための研修プランの例

研修内容	内科学会入会 ↙		内科専門医試験 ↘				
	初期研修		内科専攻医 脳神経内科専攻				
卒後年数	神経学会入会 ↙		神経内科専門医試験 ↘				
	1	2	3	4	5	6	7

B 脳神経内科サブスペシャリティ・レジデント

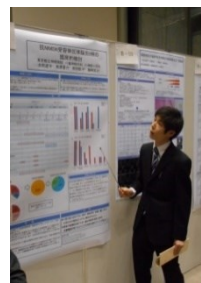
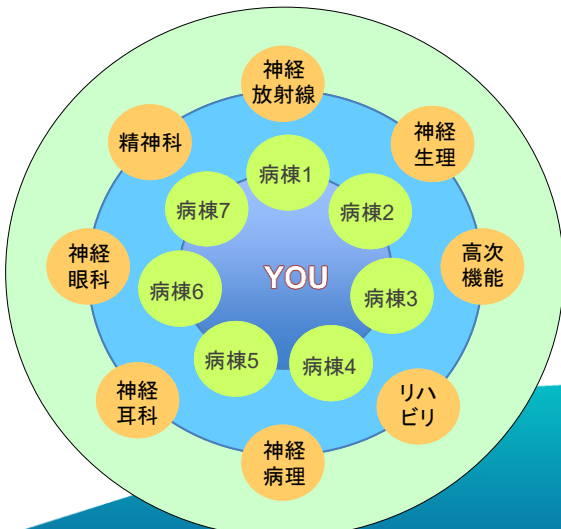
特長: 内科履修後の方が神経内科専門医資格を目指すコースです。

条件: 内科認定医・専門医の方、または内科専門研修の修了要件を満たした方で、
神経病院に採用された方 若干名

研修期間: 1～3年間(神経内科専門医受験資格を得るまで。)

注意点: 院外研修はできません。

身分は「東京医師アカデミー所属」か「神経病院所属任期付法人職員」となります。



研究発表会

7つの病棟・
8つのサブスペシャリティを研修

研修
ローテ(例)

多摩総合医療センターを基幹施設とする場合:地域枠研修の場合があります

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (多摩総合医療センター)		内科 (多摩総合医療センター)		内科 (多摩総合医療センター)		内科 (多摩総合医療センター)		ER (多摩総合医療センター)			
基幹施設にて内科専門医取得のために必要な内科症例の研修を行う。												
地域枠研修で採用の場合、神経病院での研修期間は1年6ヶ月です。内科(連携施設)は日本神経学会教育施設を選択できます。												
2年次	脳神経内科病棟1 オリエンテーション		脳神経内科病棟2 神経放射線		内科(連携施設)		内科(連携施設)					
神経病院での研修は各病棟の医長の指導を受けながら、サブスペシャリティ研修も平行して行う。内科(連携施設)研修は、基幹施設の多摩総合医療センターにご確認ください。												
3年次	内科(連携施設)		内科(連携施設)		内科(連携施設)		内科(連携施設)		内科(連携施設)			
4年次	脳神経内科病棟3 神経生理		脳神経内科病棟4 神経病理		脳神経内科病棟5 高次機能		脳神経内科病棟6 リハビリテーション					
各病棟の医長の指導を受けながら、サブスペシャリティ研修も平行して行う。												

研修
ローテ(例)

多摩南部地域病院を基幹施設とした場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (多摩南部地域病院)		内科 (多摩南部地域病院)		内科 (多摩南部地域病院)		内科 (多摩南部地域病院)		内科 (多摩南部地域病院)			
基幹施設にて内科専門医取得のために必要な内科症例の研修を行う。												
2年次	ER (多摩総合医療センター)		脳神経内科病棟1 神経放射線		脳神経内科病棟2 神経生理		脳神経内科病棟3 神経病理					
必修のER研修後、神経病院で各病棟の医長の指導を受けながら、サブスペシャリティ研修も平行して行う。												
3年次	脳神経内科病棟4 高次機能		脳神経内科病棟5 リハビリテーション		脳神経内科病棟6 神経耳科		脳神経内科病棟7 神経精神科					
各病棟の医長の指導を受けながら、サブスペシャリティ研修も平行して行う。												
4年次	脳神経内科希望病棟 神経眼科		脳神経内科希望病棟		脳神経内科希望病棟		脳神経内科希望病棟		脳神経内科希望病棟			
希望病棟を選択できます。												

2年次以降は、日本神経学会教育施設(多摩総合医療センターおよび神経病院)での研修です。
日本神経学会の専門医受験資格が取得できます。

研修
ローテ(例)

荏原地域病院を基幹施設とした場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (荏原病院)		内科 (荏原病院)		内科 (荏原病院)		内科 (荏原病院)		ER (墨東病院)			
基幹施設での内科専門医取得のために必要な内科症例の研修と、墨東病院でのER研修を行う。												
2年次	脳神経内科 (荏原病院)		脳神経内科 (荏原病院)		脳神経内科病棟1 神経放射線		脳神経内科病棟2 神経生理					
基幹施設での脳神経内科・脳卒中センター研修と、神経病院での脳神経内科研修を行う。												
3年次	脳神経内科病棟3 神経病理		脳神経内科病棟4 高次機能		脳神経内科病棟5 リハビリテーション		脳神経内科病棟6 神経耳科					
各病棟の医長の指導を受けながら、サブスペシャリティ研修も平行して行う。												
4年次	脳神経内科病棟7 神経精神科		脳神経内科希望病棟 神経眼科		脳神経内科希望病棟		脳神経内科希望病棟		脳神経内科希望病棟			
各病棟の医長の指導を受けながら、サブスペシャリティ研修も平行して行う。												

荏原病院も神経病院も日本神経学会教育施設です。
日本神経学会の専門医受験資格が取得できます。

豊富な回診・カンファレンス・講義

A 回診

毎週火曜午前、新患カンファレンスでプレゼンし、新患患者の院長回診に帯同することで、高度な診療技術と最新の学術的知識に触れることができる。火曜午後は病棟入院患者全員を部長・医長と回診する。

B カンファレンス

名称	開催頻度
病棟カンファレンス	週1回(月)
症例検討会(CC)	週1回(火)
Journal Club (抄読会)	週1回(火)
臨床病理検討会(CPC)	月2回(水)
病理示説(Brain Cutting)	月2回
高次機能カンファレンス	月1回
脳波カンファレンス	週1回
認知症カンファレンス	月1回(第1木)
神経筋生検カンファレンス	2カ月に1回
多摩キャンパス神経カンファレンス	年2回
都立病院神経内科合同症例検討会	年2回
放射線科読影カンファレンス	不定期
Tama translational Medical science forum	年1回



各分野のエキスパートによる講義

C 講義：医師アカデミー講義と神経生理講義

レジデントを含む若手医師に、各分野のエキスパートが臨床に直結した講義を行う。

日時	講義内容	講師	会場
2021年 4月14日(水)	17:00~17:45 神経学的診察法	脳内 高橋	2F 会議室
	17:45~18:30 パーキンソン病 I -病態・診察・内科的治療-	脳内 高橋	2F 会議室
6月9日(水)	17:00~17:45 神経耳科	神耳 内藤	2F 会議室
	17:45~18:30 小児神経疾患	小児 熊田	2F 会議室
6月16日(水)	17:00~17:45 てんかん外科	脳外 松尾	2F 会議室
	17:45~18:30 てんかんの病態・診察・薬物療法	小児 福田	2F 会議室
7月14日(水)	17:00~17:45 高次脳機能	脳内 角南	2F 会議室
	17:45~18:30 運動ニューロン疾患	脳内 林	2F 会議室
9月15日(水)	17:00~17:45 脊髄・脊椎外科	脳外 高井	2F 会議室
9月22日(水)	17:00~17:45 神経放射線科 総論	放射 中田	2F 会議室
	17:45~18:30 神経放射線科 各論		
9月29日(水)	17:00~17:45 論文執筆の意義と基礎知識	脳内 清水	2F 会議室
	17:45~18:30 学会発表・プレゼンテーションの仕方	小児 熊田	2F 会議室
10月13日(水)	17:00~17:45 中枢神経系脱髄性疾患	脳内 巖	2F 会議室
	17:45~18:30 遺伝カウンセリング	脳内 川田	2F 会議室
11月10日(水)	17:00~17:45 神経病理 総論	検査 小森	2F 会議室
	17:45~18:30 パーキンソン病 II -PDの外科治療とジストニア-	脳内 池澤	2F 会議室
11月17日(水)	17:00~17:45 神経眼科	神眼 山田	2F 会議室
	17:45~18:30 認知症	脳内 長岡	2F 会議室
12月15日(水)	17:00~17:45 多系統萎縮症	脳内 飛澤	2F 会議室
	17:45~18:30 遺伝性脊髄小脳変性症	脳内 菅谷	2F 会議室
2022年 1月12日(水)	17:00~17:45 リハビリテーション(神経難病を中心に)	リハ 早乙女	2F 会議室
	17:45~18:30 神経疾患における精神症状-診断と治療-	精神 佐藤	2F 会議室
1月26日(水)	17:00~17:45 筋疾患-病歴、身体所見、画像、生検、遺伝、自己抗体-	脳内 漆葉	2F 会議室
	17:45~18:30		

レジデントとコース責任者より一言

サブスペシャリティ・レジデント 2年次 和田 隆秀
臨床研修委員長 脳神経内科部長 蕨 陽子



Dr. Wada

私は卒後6年目から医師アカデミー制度で神経病院にて研修をしております。研修して1年間を終え、当院で研修するメリットについて説明させていただきます。

一つはやはり神経疾患専門病院として国内随一の病床数とそれに支えられた豊富な症例かと思えます。脳神経内科は多岐の分野に渡る多疾患を対象とし、その診断、治療に難渋することを少なからず経験します。論文、参考書など疾患に関する情報を得ることは近年非常に簡単になりましたが、臨床の現場で最も重要になるのは、その症例を診療したことがあるという経験だと思えます。当院ではまさにその経験を積むことができます。

また末梢神経病理、筋病理に関する院内での勉強会や脳波勉強会など、自己学習に加えた研鑽の機会も非常に豊富です。自然と生検した病理標本を自分で確認しようという意識を持つようになりましたし、脳波の判読にも自信を持つことができました。

最後に、神経病院には出身大学の学閥などはありません。みなさん、出身大学や年次など忘れて毎日一緒に仕事をしています。経歴も様々で、脳神経内科の診療を学びたいという気持ちがあれば、全面的に協力していただけます。

私自身まだ脳神経内科医として未熟ですが、都立神経病院という歴史ある病院で、恵まれた環境や周囲の方々の支えのもと有意義な研修ができていると切に感じています。神経分野に興味がある方は、ぜひとも当院に見学にいらして下さい。心よりお待ちしております

私たち都立神経病院は、脳神経内科だけで7病棟・200床以上もある、世界でも有数の神経専門病院です。毎週40～50名の神経難病患者さんが入退院し、脳炎やギラン・バレー症候群で集中治療を行う急性期の患者さんも大勢います。また、診断や初期治療から呼吸器装着、リハビリテーション、在宅診療、終末期緩和ケア、病理解剖まで、神経難病のすべてを自分の目で確かめることができます。そのため神経内科専門医試験の合格率はほぼ100%です。

都立神経病院では、初期研修後の方が4年間で内科と神経内科の2つの専門医を取得できるコースと、内科修了後の方が神経内科専門医を目指すサブスペシャリティ・コースを設置し、幅広くレジデントを募集しています。当院には学閥はなく、勤務時間や当直業務は既定の範囲内で、働きやすさには定評がありますので、東京は初めてという方や女性の先生も、心配なさらずご応募ください。さらに、病床数、専門医数、指導医数は全国最大規模ですので、格段に豊富な症例を経験できます。そして、神経生理、神経病理、放射線診断、高次機能、筋疾患、免疫性疾患、臨床遺伝などの専門家が指導にあたりますので、国際学会や論文執筆を誰もが経験できます。後期研修を修了した後は、当院で働きながら東京都医学総合研究所で研究し、医学博士号を目指す道もあります。皆さんの期待を裏切らない研修ができるはずです。当院での研修を心よりお待ちしております。



Dr. Warabi


シニアレジデントによる業績 (筆頭著者英文論文)

- **Longitudinally extensive transverse myelitis as neurosarcoidosis accompanying duropathy.**
Takai Y, Warabi Y, Sunami Y, Miyakoshi N, Takahashi K.
Neurology and Clinical Neuroscience 11(3): 173-175, 2023.
- **Difference between the MRI Findings for Neuro-Behçet Disease and Neuro-Sweet Disease.**
Shimazaki R, Sugaya K.
Intern Med. 2022 Sep 1;61(17):2701.
- **Dystonic Tremor in Adult-onset DYT-KMT2B: A Case Report.**
Shimazaki R, Ikezawa J, Okiyama R, Azuma K, Akagawa H, Takahashi K.
Intern Med. 2022 Aug 1;61(15):2357-2360.
- **Mild form of Danon disease: two case reports.**
Yasui T, Nagaoka U, Oya Y, Uruha A, Karashima J, Funai A, Miyamoto K, Matsubara S, Sugaya K, Takahashi K, Inoue M, Okubo M, Sugie K, Nishino I.
Neuromuscul Disord. 2021 Nov;31(11):1207-1211.
- **Enlarged high frequency oscillations of the median nerve somatosensory evoked potential and survival in amyotrophic lateral sclerosis.**
Norioka R, Shimizu T, Bokuda K, Morishima R, Kawazoe T, Kimura H, Asano Y, Nakayama Y, Takahashi K.
Clin Neurophysiol. 2021 Sep;132(9):2003-2011.
- **Iliopsoas Hematomas in a Patient with Progressive Encephalomyelitis with Rigidity and Myoclonus.**
Shimazaki R, Mukai M, Nagaoka U, Sugaya K, Takahashi K.
Intern Med. 2021 Aug 1;60(15):2475-2477.
- **Rimmed Vacuoles in Myositis Associated with Antimitochondrial Antibody.**
Shimazaki R, Uruha A, Kimura H, Nagaoka U, Kawazoe T, Yamashita S, Komori T, Miyamoto K, Matsubara S, Sugaya K, Nagao M, Isozaki E.
J Clin Neurol. 2020 Jul;16(3):510-512.
- **Saccharopinuria accompanied by hyperammonemia and hypercitrullinemia presented with elderly-onset epilepsy, progressive cognitive decline, and gait ataxia.**
Norioka R, Tobisawa S, Nishigori R, Kuhara T, Yazaki M, Nagao M, Ohura T, Takai Y, Funai A, Miyamoto K, Kawata A, Takahashi K.
Intractable Rare Dis Res. 2021 May;10(2):126-130.
- **Midbrain atrophy related to parkinsonism in a non-coding repeat expansion disorder: five cases of spinocerebellar ataxia type 31 with nigrostriatal dopaminergic dysfunction.**
Norioka R, Sugaya K, Murayama A, Kawazoe T, Tobisawa S, Kawata A, Takahashi K.
Cerebellum Ataxias. 2021 Mar 30;8(1):11.
- **Intraventricular Silicone Oil Migration Resembling Hemorrhagic Complication in a Patient with Ischemic Stroke Receiving Antithrombotic Therapy.**
Shimazaki R, Tsunogae M, Ueda M.
J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021 Feb;30(2):105527.

シニアレジデントによる業績 (筆頭著者英文論文)

- **Clinical characteristics of children and adults with anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis.**
Norioka R, Kumada S, Tobisawa S, Tsuyusaki Y, Isozaki E.
Clin Neurol Neurosurg. 2020 Sep;196:106015.
- **The Successful Treatment of Severe Trigeminal Neuralgia by a Single Mandibular Nerve Block and Subsequent Natalizumab Administration in a Patient with Multiple Sclerosis.**
Norioka R, Warabi Y, Matayoshi H, Isozaki E.
Cureus. 2020 Apr 12;12(4):e7646.
- **Inflammatory Cerebellar PML with a CD4/CD8 Ratio of 2.9 Showed a Favorable Prognosis in a Patient with Rheumatoid Arthritis.**
Nishigori R, Warabi Y, Shishido-Hara Y, Nakamichi K, Nakata Y, Komori T, Isozaki E.
Intern Med. 2019 Nov 15;58(22):3323-3329.
- **Central nervous system involvement in patients with critical illness polyneuropathy**
Journal of the Neurological Sciences.
Murayama A, Sugaya K, Shimizu T, et al., Isozaki E. Journal of the Neurol Sci. 2019 Jan 15;396:216-218.
- **Intracranial hemorrhagic lesions in neurosarcoidosis: The difference from neuromyelitis optica spectrum disorders.**
Nishigori R, Warabi Y, Isozaki E:
Clinical and Experimental Neuroimmunology 9, Suppl.1: 60-62, 2018.
- **Diffuse lesions in the limbic system with short - term memory loss in a patient with multiple sclerosis.**
Takai Y, Warabi Y, Norioka R, Tojima M, Ikezawa J, Okiyama R, Isozaki E:
Clinical and Experimental Neuroimmunology 9, Suppl.1: 56-59, 2018.





スペシャリストを目指して 都立神経病院が 君を待っている！

全国屈指・世界でも有数の神経専門病院 ー脳神経内科は7病棟 216床ー

充実した教育システムと指導スタッフ ー脳神経内科専門医 26名ー

診断・告知・治療・往診・緩和・剖検まで ー神経難病のすべてがわかるー

高度専門診療・教育・臨床研究 ー学会発表・論文執筆から博士研究へー

お問い合わせ

ご質問等は、総務課総務グループ総務担当までお気軽にどうぞ。
病院見学も随時受け付けております。
お電話またはEmailにてお問い合わせください。

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-6-1
東京都立神経病院 総務課総務グループ総務担当
・TEL 042-323-5110(代表) 内線3214
・Email: sk_shinkei-1980@tmhp.jp
・URL: <https://www.tmhp.jp/shinkei/>

院長 高橋 一司
副院長 清水 俊夫
研修担当部長 蕨 陽子



地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立神経病院

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-6-1 TEL 042(323)5110 <https://www.tmhp.jp/shinkei>